



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-  yama City Hospital News letter

Vol.23

1 副院長挨拶

～副院長就任のご挨拶～

この度、新小山市市民病院の副院長に就任いたしました、東（ひがし）です。よく（あずま）と呼ばれます。関東では、やっぱりあずまのほうが多いようです。

6番目の副院長ですので、幕内の小結から大関に昇進した感じでしょうか？横綱格の島田院長・ベテランの副院長先生方には、管理職としてのご指導をこれからもよろしくお願いします。

今年50歳になり、特に気負うところもないのですが、順調に成長を続ける市民病院を少しでも支えられればと感じてはおります。

15歳で医学の道を志学、33歳で自治医大に戻ることを而立、45歳で新小山市市民病院に派遣され、はや5年、不惑から知命の時が訪れました。

よく皆さんに「先生の専門は？」と尋ねられますが、特に専門を作らないオールマイティーが自分の特徴だと思っています。脊椎を中心に、膝、股関節の人工関節、外傷、手の外科など欲張りですがなんでもある程度まではやります。ですから、昔から体操の内村航平は大好きでした。

強いて言えば、今後はRAを中心に外科的治療を研鑽していこうと考えています。

今後とも県南の患者さんや医師会の先生方のご期待に少しでも応えられるように精進していきたいと考えております。

よろしくご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

平成30年 12月 新小山市市民病院 副院長・整形外科主任部長 東 高弘

2 TOPICS 病床フルオープン！

平成30年10月1日から、2A病棟がフルオープンしました。2A病棟は、呼吸器内科と腎臓内科の29床の急性期病棟です。

2A病棟では、医師・看護師だけでなく患者さんに関わる全ての職種が協働することで、患者さんやご家族が安心して療養できることを目標にしています。また、何より患者さんに優しい病棟を目指して頑張っています。

フルオープンに伴い、新小山市市民病院は300床全床が稼働することになりました。今後も、それぞれの病棟の機能・専門性を活かし、病院一丸となってチーム医療に取り組んでいきたいと思ひます。



目次:

副院長挨拶	1
tPA、カテーテル治療	2
新任医師紹介・病院指標..	3
お知らせ	4

ハイライト

- 脳血管内治療科より血栓回収、t-Pa のお話
- 10月に着任した医師4名をご紹介します。
- ホームページ内の病院指標を更新しました。その中からいくつかご紹介します
- 医療連携室からは、紹介・逆紹介率をまとめました。
- 地域サービス推進室の活動報告

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。



第7回 ふれあい祭り

無事、開催することができました。ご協力ありがとうございました。

当日は快晴で絶好のお出かけ日和となり、昨年雨で実施できなかった屋外の企画も今年度はリベンジすることができ、また屋内のイベントや体験・相談コーナーも少しずつ変え、来場者の方にお楽しみいただけたかと思えます。



講演会は小山地区医師会から森谷眼科の森谷院長、小山歯科医師会から大友歯科医院の大友医院長にもご講演頂きました



今年は院長、副院長と看護部の精鋭達“ふれあい隊”によるダンス“恋するフォーチュンクッキー”を披露しました

今後も引き続き、病院を知って頂く機会を充実・継続していきたいと思えます。

これからもよろしくお願いいたします。

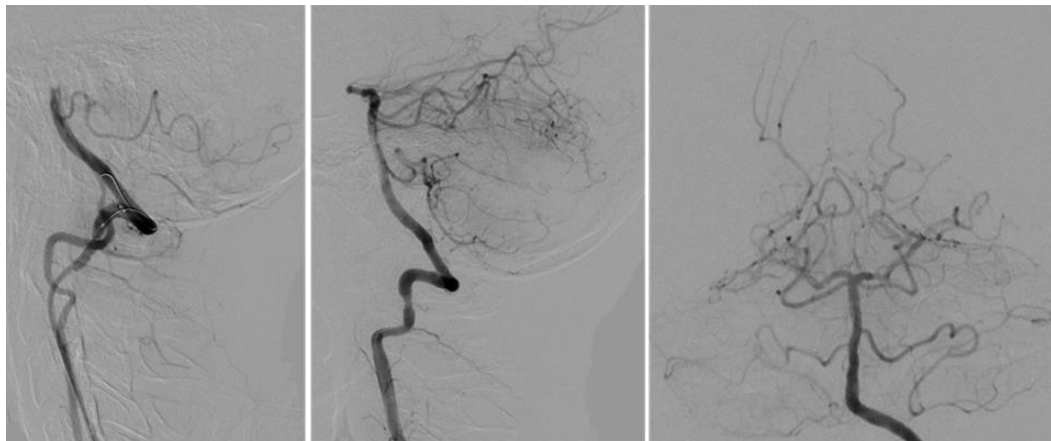
脳卒中は早期治療開始が大切

脳卒中は我が国の死亡原因第4位、寝たきりの原因第1位、さらに国民医療費の約10%をしめる重大な疾患です。特効薬tPAの登場や治療法の進歩によって早期に発見されれば治すことが可能な病気になりつつあります。

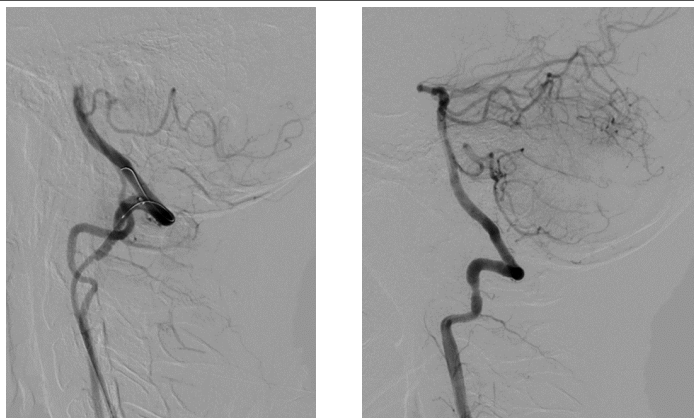
tPA治療、超急性期脳血管内治療（カテーテル治療）に対応

2005年10月に血栓を溶かす薬剤（t-PA）が承認を受け、日本でも治療が受けられるようになりました。しかしながら、t-PAの投与は発症から4.5 時間以内に限られ、出血性合併症の危険性から多くの禁忌項目が存在するなど制限が多く、また内頸動脈や中大脳動脈近位部閉塞など脳主幹動脈例では再開通が得られにくく、非常に予後が悪いことが分かってきました。したがって、何らかの理由でt-PAが使用できない患者さんや脳主幹動脈閉塞の患者さんに対しては、何らかの追加治療により早期再開通を図り、予後改善をめざす必要があります。

当院では、全国的にもまだ数少ない脳血管内手術（カテーテル治療）など先進的医療にも対応しております。何らかの理由でt-PAが使用できない患者さん、または効果が期待し難い脳主幹動脈閉塞の患者さんに対して、カテーテルによる血栓回収術を積極的に行っています。脳梗塞の危険因子のある患者さんにおきましては、万が一の際はすぐに救急車を呼んで専門病院を受診して頂き、一人でも多くの患者さんが元気に退院されますようご協力をお願い申し上げます。

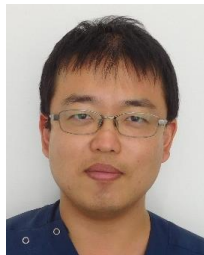


突然の意識障害、四肢麻痺で来院。脳底動脈閉塞に対して緊急血栓回収術を行った症例。術中呼吸停止する重症例であったが、術直後から意識、四肢麻痺改善が得られた。



新任ドクターの紹介

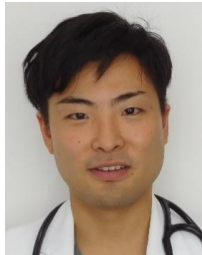
10月採用の新しい医師を紹介します



神経内科
古谷 浩平

10月から新小山市民病院に赴任致しました。神経内科の古谷浩平（ふるや こうへい）と申します。

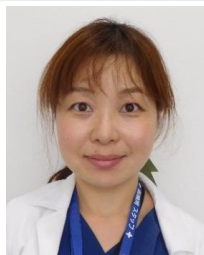
研鑽を積み、より良い医療を提供できるよう努めてまいり所存です。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



呼吸器内科
川崎 樹里

10月から自治医大より新小山市民病院に赴任しました。川崎樹里（かわさき じゅり）と申します。

丁寧な問診を心がけ、診断・治療に繋げていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



外科
高見 真梨子

10月から新小山市民病院に赴任してまいりました。高見 真梨子（たかみ まりこ）と申します。

患者さんに寄り添った安心・安全な医療を心がけ日々努力していきます。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



形成外科
金子 侑平

10月から新小山市民病院に赴任しました。金子 侑平（かねこ ゆうへい）と申します。

造形にかかわるご病気でお悩みの方がいらっしゃいましたらお気軽にご相談下さい。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



～ 病院指標 ～

HP内の病院指標を更新しました。いくつか紹介いたします。



■循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
050050xx99100x	狭心症・陳旧性心筋梗塞	219	2.93	3.03	0.00	67.38
050130xx99000x	心不全	174	19.35	17.71	2.87	79.90
050050xx02000x	狭心症・陳旧性心筋梗塞	137	4.50	4.62	0.00	68.58
050030xx97000x	急性心筋梗塞（統廃合併症を含む）、再発性心筋梗塞	71	14.39	12.72	0.00	67.70
050210xx97000x	徐脈性不整脈	38	12.05	11.21	0.00	77.18

初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準（※）	人数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	38	19	—	14	—	11	1	7
大腸癌	26	24	58	31	16	37	1	7
乳癌	—	—	—	—	—	55	1	7
肺癌	—	—	17	30	—	26	1	7
肝臓	—	—	—	—	—	22	1	7

※ 1: UICC TNM分類, 2: 癌取り扱い規約

■神経内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）	109	15.88	16.38	26.61	66.64
010040x099x00x	脳出血（JCS10未満）	40	23.53	19.10	55.00	70.00
010060x2990411	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）	36	21.25	18.34	25.00	73.00
010040x199x00x	脳出血（JCS10以上）	18	25.83	21.36	61.11	76.94
010160xx99x00x	パーキンソン病	17	24.00	18.66	29.41	68.18

■脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	299	22.17	72.93	34.08
その他	15	20.20	75.13	1.59

■整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
160800xx01xxxx	大腿骨骨折	120	30.26	27.09	51.67	81.85
070343xx97x0xx	腰部脊柱管狭窄症	46	15.20	17.28	0.00	70.00
160690xx99xx0x	胸椎圧迫骨折・腰椎圧迫骨折	38	21.76	19.94	15.79	74.16
070341xx020xxx	頸椎症性脊髄症	35	19.97	22.08	8.57	70.29
160760xx97xx0x	前腕の骨折	26	4.00	5.21	0.00	44.08

詳しくは、当院ホームページ
<http://hospital-shinoyama.jp/about/shihyo/>
 をご覧下さい。

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30～17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

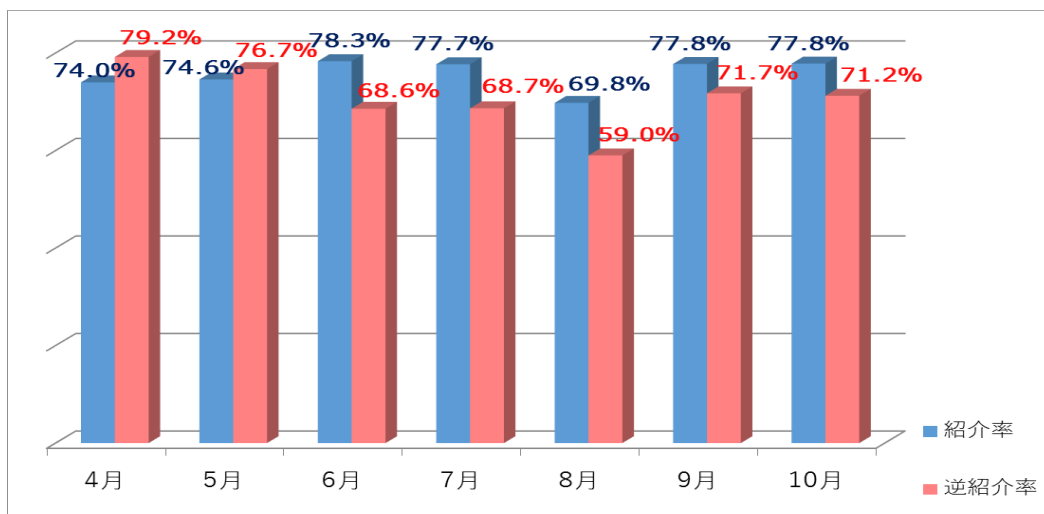
<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>



医療連携室からのお知らせ

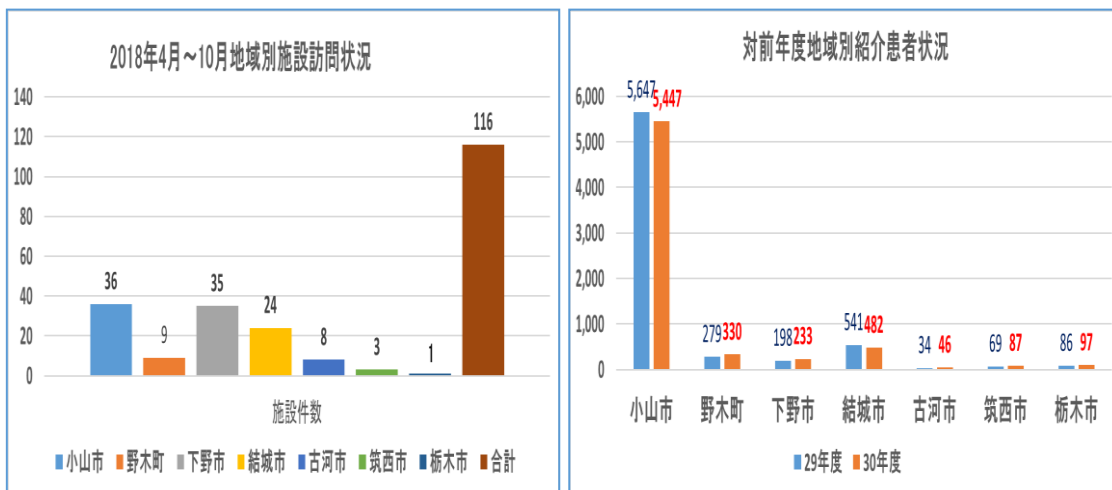
いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。

4～10月の紹介・逆紹介率データを集計しグラフ化しました。



地域サービス推進室（小林）からの上半期活動報告

日毎寒くなり始めました。医師会の先生方お体をご自愛くださいませ～(*^_^*)



小山市・結城市の紹介件数が微減となっています。下半期・小山市を中心に訪問していきますので、ご用があれば、どんなことでもお話を聞きに伺います。遠慮なく直通コール（電話：0285-36-0278）をご活用ください。

また、呼吸器内科と臨床検査部門・地域サービス推進室を主軸に睡眠時無呼吸症候群のFull PSG検査強化中です。開業医の先生方SASの疑い患者さんは是非ご紹介くださいませ。よろしくお願いします。

対前年度Full PSG検査実施状況

